

修学旅行が終わり、学総が終わり、いつの間にか3年生の1学期が終わろうとしています。心に残る思い出が積み重なっていることでしょうか。ここまで頑張れた人は、これからの進路に向かっても必ず頑張れます。今一つだった人は、ここから自分は変わるぞ、と自分自身を鼓舞してください。

□今すべきこと=学力向上

・現時点での学力で、「どうせ自分は…」などと考えない

「今の学力だと〇〇高校あたりかな」などと考えて、〇〇高校なら大丈夫と努力をしない人がいます。しかし、県立高校受検まで7ヶ月余りの時間があります。まだまだ学力は伸びます。しかもそれは他の人も同じです。部活引退後本気になって勉強に集中した結果、無理だと思われていた高校に見事合格したという例をいくつも見てきました。妥協せず、あきらめず、努力を続けてください。

□夏休みに学力を伸ばす3つの力

時間管理力

夏休みになるとチャイムが鳴りません。「教室に入りなさい」「席に着きなさい」そんな声もありません。やるべきことと時間を自分で決め、その時間になったら自分から始める。その能力が時間管理力です。まずは朝起きる時間を決め、自分で起きる。また、夜寝る時間も決め、それをオーバーしない。そして朝昼晩の食事をしっかりとる。これだけで健康を守る生活リズムが作られます。生活リズムをきちんと作ることが時間管理の第一歩です。この生活リズムがしっかりできていないと効果的な学習は成立しません。

計画立案力

学力を上げるためには計画的に学習を進めることが大切です。その計画を立てる力が計画立案力です。わかりやすい、見やすい、といったことより自分がどれだけ頑張れるかを理解していることが大事です。計画はどうしても盛りだくさんになりがちですが、もっとも大切なのは、これだけはという内容に絞った「実行し切れる計画」になっていることです。そのためにいつ、何を学習するのかをなるべく具体的に決め、記入します。

例【〇月〇日 AM9:00~12:00 数学問題集 P.5~8(答え合わせ、やり直しまで)】

実行力

これはもう文字の通りです。いくら良い計画を立てても「計画倒れ」となるとは意味がない、どころか、失敗した、挫折した、というマイナスのイメージが付きまわってしまいます。計画をしっかりと実行していくためには、やる気や精神力だけでなく、自分がつい気を引かれてしまいそうなもの(例えば、ゲーム、スマホ、マンガなど)を遠ざけることや、机上の整理整頓なども大切なポイントです。また、計画を立てるだけでなく、実施した記録を付けていくと「これだけやった」という充実感が得られ、実行力につながります。

【各教科 ワンポイントアドバイス】

国語…①入試に出た過去問を解いて実力をつける。②よく出る古典(徒然草、枕草子、方丈記、平家物語など)を図書館などから借りてきて読む。③漢字、四字熟語、ことわざ、故事成語、類義語・対義語、慣用句なども便覧などを使ってノートにまとめるなどして覚える。④新聞、近代文学、現代の小説などを読む。

数学…過去問を解いて実力をつける(津澤先生より廊下にプリントあり)。問題集を使って自分の不得意な問題を徹底的にやって弱点をなくす。わからない問題が出てきたらすぐ先生に聞く(部活のある日に、先生が学校に来ているか電話で確認してから)。

英語…英単語 1,850 語を計画的に覚えよう。文法事項を確認し苦手な部分を復習、練習問題をたくさんやろう。長文読解にも慣れておこう。リスニングはタブレットを使って耳を鍛えよう。

【夏休み学習会を利用しよう】

夏休み中に学習会として下記のように教室を開放しています。涼しく落ち着いた環境で学習できます。また、先生に質問することもできますので、ぜひこの機会を利用しましょう。

記

○日程 … ① 7 / 24 (月)、25 (火)、8 / 18 (金)

○時間 … いずれの日も、午後1時~午後3時の2時間。

○内容 … 自分で用意した課題を自分で学習する。質問や相談にも応じます。

※事前に招待状が届いた人は積極的に参加してください。